

# 「あらかわの心」ニュース

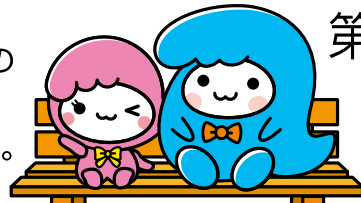
第25号

平成30年  
10月1日発行



「あらかわの心」推進運動  
シンボルマーク

今号では、川の手荒川まつりでのPR活動の様子や、参加団体の活動報告についてお届けします。



あらみい  
©荒川区2012# (30-0006)

あら坊  
©荒川区2010# (30-0006)

## 川の手荒川まつりでPR活動

平成30年4月29日（日・祝）、都立汐入公園で開催された川の手荒川まつりにて、「あらかわの心」推進運動のPR活動を行いました。

ブースでは、カルタクイズを実施し、参加した子どもたちに、穴埋めクイズをしながら、「あらかわの心」カルタの読み札の意味を考えてもらいました。おせっかいアンケートでは、おせっかいにまつわるエピソードなどを答えていただきました。

また、特設ステージでは、「カルタ編」の寸劇を行いました。これは、「あいさつ、きまり、思いやり、体験、見守り」という

5つのテーマのもと、対照的な行動をするA君とB子ちゃんのやり取りを見た後、どちらが良い行動をしたかを答える参加型の寸劇です。「この2人はどちら

が良い挨拶ですか？」という投げかけの後、寸劇を見た子どもたちは「A君！」と、元気いっぱいに答えてくれました。寸劇を見て、子どもたちは楽しみながら「あらかわの心」について学んでくれたことと思います。

寸劇の後には、「あらかわの心」の内容が詰まった歌「荒川家の朝ごはん」を歌った後、取り組みが書かれた5つのハートマークを合体させ、シンボルマーク



親子でカルタクイズに挑戦中



ハートマークが合体！

### 《おせっかいアンケートの回答内容》

- あなたがした「おせっかい」を教えてください。
  - ・駅の階段でベビーカーを運んでいる方に声をかけ、手伝った。
  - ・二人乗りをしている子どもに注意をした。
- 身の回りで起きた「おせっかい」にまつわる話
  - ・子どもが危ないことをしていたので注意をしたが、母親に睨まれてしまった。
  - ・ポイ捨てをしている人に対し、父親が注意していた。

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました

を表現しました。  
川の手荒川まつりでの活動を通じて、「あらかわの心」について多くの皆さんに知っていただくことができました。今後、大人が手本となり子どもを育てることを呼びかける本運動を推進していくため、様々なイベントで啓発活動に取り組みしていきます。

# 大門町会「春まつり」

平成30年5月13日（日）、荒川区大門町会主催で「春まつり」を開催しました。当町会では会員の親睦と子どもからご年配まで多くの方々が参加できる地域のふれあいの場として楽しめる企画を考案しておりました。既に「ふれあいまつり」を毎年実行している西尾久2丁目北町会様へ、開催に当たり助言を頂きました。

実施に当たり、まず数名の実行委員を選出し、5ヶ月前より当日までの計画を立て、1度の会合を設けて準備を進めました。また、開催の為に人員確保が課題でしたが、地域の諸団体である大門小学校PTA、消防団、長生寿会、あらかわの心、東京東信用金庫、大門睦の協力が得られたことは大変心強く感謝申し上げます。

開催については、大門小学校PTAをはじめ、近隣の幼稚園や保育園等へ声がけさせて頂いたこともあり、300名を超える参加を頂き、各ゲームコーナーや模擬店など、大変人気で予想を上回る盛大なものとなりました。

今回の経験や、ご来場頂きました方々のご意見等を参考に、来年度以降も開催継続を予定しています。



大盛況でした

荒川区大門町会

## ボッチャを 楽しもう！



ボッチャを楽しみました

平成30年7月7日（土）、第三日暮里小学校体育館にて、青少年委員日暮里ブロック主催で第16回わくわくランド「パラリンピック ボッチャを楽しもう！」を開催しました。

2年後に東京オリンピック・パラリンピックが行われます。そのパラリンピックで正式種目である障がい者スポーツの「ボッチャ」を小学生の親子に教え、楽しんでもらいました。最初はどのような競技なのかわからないまま、使用する球を一つだけ手作りしてもらい、試合開始となりました。

一試合目は何もわからず説明通りに進みました。二試合目からは色々と作戦を立て子どもたちは楽しそうに競技をしていました。また、一緒に参加してくださいました保護者の方も最初は興味がなかったようですが、徐々に楽しむ姿は子ども以上に熱かったです。参加してくれた子どもたちから、「ボッチャが楽しかった」という声があり、次回も開催出来たらと思います。

青少年育成日暮里地区委員会  
育成部長 神山 早苗

## 被災地支援活動に 思うこと



貴重なお話を伺いました

私共の会活動の大きな柱の一つが被災地への支援です。活動当初は東北地方に物資をお送りさせて頂きました。翌年からは訪問活動に変わり、以後毎年実施しております。

バス1台で福島県に赴き、災害時のお話を伺いつつ現地の状況を拝見して、災害の恐さを感じつつも復興の様子に安堵し、更なる応援の心を持ちました。ご家族や家財一切を突然失われたご無念等は、やはり現地へ伺うことで一層深く感じとらせて頂いている次第です。

また本年は、アウシユビッツ記念館で写真を見たり、説明をお聞きすることで、戦争の恐ろしさに身震いしました。その反面、直後に伺った松平定信公が作られた灌漑用南湖公園のびのびした景色やボートを楽しむ人々の姿に、優れた政治がもたらした平和や地域活動に感動し、その永続を願いました。

私共の活動を続けて来られたお陰様を、都・区並びに区社会福祉協議会様に感謝し、可能な限りの今後の活動継続を願っております。

荒川明るい社会づくりの会  
会長 富里 美砂子

## 地域の安全・安心を目指し日夜訓練



消防操法審査会の様子

広げられています。

本年の消防操法審査会に際しては、各分団とも4月初旬から訓練を開始し、団員は仕事が終わった18時過ぎから毎日のように訓練を行い、時には激論を交わしながら優勝を目指しました。この訓練を通して、団員間の結束がより深まりました。審査の結果は、町屋一丁目から四丁目地区を管轄とする第一分団が優勝しました。各分団とも接戦で、優秀がつけ難いほどでした。これからも、尾久消防団は、地域住民の皆様の期待に応えるよう団員一同、一致団結して、地域の安全と安心のため、日々精進してまいります。

### △お知らせ▽

地域防災の担い手である消防団員が減少していることをご存知でしょうか。災害時の対応が憂慮されています。現在消防団員を募集していますので、尾久、町屋地域に住んでいる方、通勤している方、また通学している方で消防団に興味のある方は、ぜひ尾久消防団本部（尾久消防署内38000-01119）までご連絡ください。

尾久消防団

## 4年に一度!

## ボーイスカウトの祭典!!

平成30年8月4日（土）～10日（金）、石川県珠洲市にて第17回日本スカウトジャンボリーが開催されました。テーマは「冒険く能登のチカラを未来へ」を掲げました。これは、全国のボーイスカウト仲間の代表が集う最大の大会です。

開会式には皇太子殿下のご臨席を賜り、国内のスカウト1万2700人と12ヶ国の海外派遣スカウト600人、合計1万3300人が参加し盛大に開催されました。

ボーイスカウトなら誰もが一度は体験したい素晴らしい野外活動の集大成であるジャンボリーは、自然と文化に触れて数多くの知識や興味・冒険心を満たす感動体験を世界の仲間とともに共有できるキャンプ体験でした。



開会式の様子

荒川区内3ヶ団のボーイスカウトも、指導者とスカウト13名が代表で参加しました。ジャンボリーでの活動プログラムを通じて得た体験活動は、今後のスカウト達の活動に新たな世界を提供し、成長の大きな糧になるとでしょう。

ボーイスカウト荒川第1団  
団委員 花島 克夫

## 荒中P連OB会 創立20周年記念総会・祝賀会



素晴らしい演奏でした

平成30年6月16日（土）、ホテルラングウッドにおいて創立20周年記念総会・祝賀会を開催いたしました。

子どもたちのために、同じ目的、同じ思いを抱き、同じ立場に立った者同士が集まって、当時の思い出、教育論、人生論などを語り合うことも、生涯学習の一環として有意義ではないかとの思いから、当時の区内中学校の歴代の校長先生とPTA会長が、標記の会を発足し、今年20周年の節目を迎えました。

当日は、特別区長会会長・荒川区長の西川太一郎様をはじめ、多数のご来賓と会員の出席がありました。祝賀会では、ドラマー石崎和夫氏（元第九中学校長）率いる吉村バンドによる素晴らしいジャズ演奏を聴きながら、大切な仲間と素敵な時間を過ごしました。

荒川区立中学校PTA連合会OB会  
庶務 神 真理子

## 第10回

# 「あらかわの心」 カルタ大会を開催します



第9回カルタ大会の様子



メダルを目指して  
挑戦してね

### 第10回「あらかわの心」カルタ大会

**日にち** 平成31年1月26日(土)  
**時間** 午後1時～4時  
**場所** タヤけこやけふれあい館 多目的室  
**対象者** 小学生とひらがなの読める未就学児  
(小学校に入学する前のお子さん)  
※内容は変更することがあります

「荒川は笑顔とあいさつにあう町」から始まるオリジナルのカルタを使用し、順位を競う「あらかわの心」カルタ大会を、今年度も開催します。

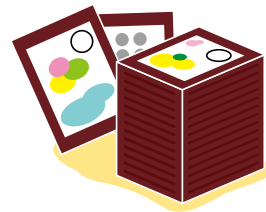
このカルタ大会には、「試合開始時に手は膝の上」「お手つきは頭の上に手を置いて一回休み」などのルールがあり、楽しみながらもルールを守ることの大切さを学ぶことができます。

今年で10回目を迎えるカルタ大会は、来年1月に開催予定です。入賞

者にはメダルの授与があります。

申し込みは、12月から受付予定です。詳しくは、区報等でお知らせします。

また、10月～11月に開催される各地区のごどもまつりの「あらかわの心」推進運動区民委員会ブースでもカルタを実際に楽しむことができますので、ぜひブースへいらしてください。



## クイズ/アンケート

クイズとアンケートの両方にお答えください。正解者の中から5名の方に「あらかわの心」推進運動タオルハンカチをプレゼント致します。郵送かメールで応募してください。

### ● 郵送の場合

はがきに、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、下記までお送りください。

〒116-8501  
東京都荒川区荒川2-2-3  
荒川区子育て支援部児童青少年課内  
あらかわの心ニュース  
「クイズ/アンケート」係

### ● メールの場合

メールの件名を右記のようにして、住所、氏名、電話番号、クイズの答えとアンケートをご記入の上、右記までお送りください。

**メール件名**：あらかわの心  
「クイズ/アンケート」係  
**Eメール**：arakoko@city.arakawa.tokyo.jp

### ● 締め切り

平成30年12月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただきますので、ご了承ください。

## クイズ

〇〇の中に入る言葉は何でしょう？  
**第10回「あらかわの心」〇〇〇大会は平成31年1月26日(土)に開催します。**

## アンケート

- ①このニュースはどこで手に入れましたか。
- ②もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。
- ③その他、ご意見・ご感想等がありましたら、お願いします。



タオル  
ハンカチ

第25号 平成30年10月1日発行  
発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局  
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3(荒川区子育て支援部児童青少年課内)  
TEL.03-3802-3111(内線3833) FAX.03-3802-3174  
〈Eメール〉 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp  
〈ホームページ〉 [https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku\\_seishonen/suishinundo/index.html](https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/kyoiku_seishonen/suishinundo/index.html)